

NAGANO CHUO HOSPITAL

<http://www.nagano-chuo-hospital.jp/index.html>



長野医療生活協同組合

長野中央病院

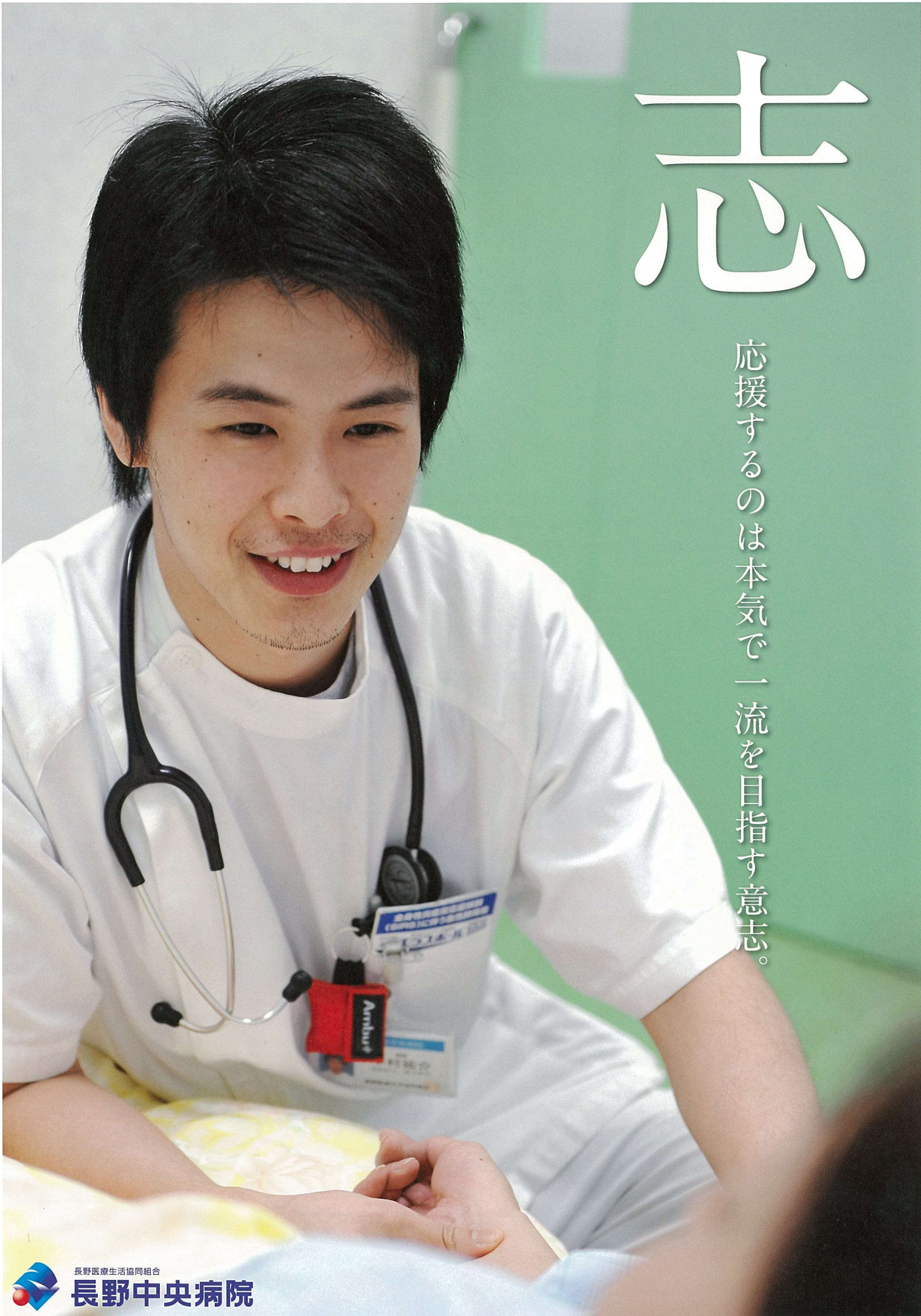
730日

臨床研修プログラム

医師
になる
という
こと
。

士 心

応援するのは本気で一流を目指す意志。



長野医療生活協同組合

長野中央病院



長野医療生活協同組合

長野中央病院

主治医として患者さんと向き合う

主治医制研修では、緊急の呼び出しを受けること、
患者さんの家族に話をすること、死亡診断書を書くことも。
研修とは技術を学ぶのみならず、患者さんと向き合うことから始まります。

医師として技術を身につける

大規模な病院や大学病院などでは、
研修医が多すぎて出来ない手技でも、当院では可能です。
科を超えて連携する先輩医師が脇でサポートするからできることなのです。

1人の人間として成長する

この研修で数値になり難い責任感や人格も含めた
総合力を身につけてもらいたいのです。
長い医師の道程で幾度となくそれを実感するでしょう。

君たちの力を次代の医療に

先輩医師たちは、まだまだ解決できない病気と格闘し、治療に挑んでいます。
医学の進歩には、君たちの発想が必要です。
本気であなたが一流を志すなら、ここで研修してみませんか。

史

30年の実績を活かした研修プログラム。



長野医療生活協同組合

長野中央病院

30年の実績を活かした 研修プログラム。

できる限り現場を知り、身を置き、実践する。

当プログラムの最大の特徴は、最初の3ヶ月の導入期病棟研修です。入院時の問診、基本診察手技、カルテの記載、オーダーの出し方など共通の技術について集中的に学習します。

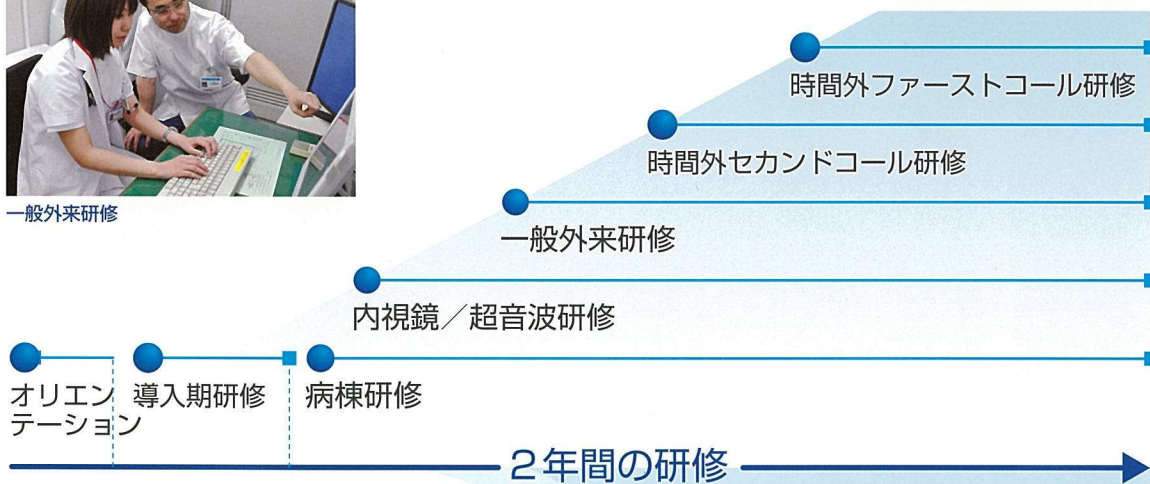
また、外来研修は1年目から行っており、2年間継続します。一般外来はきわめて総合性が要求される分野で、初期の段階からの教育が必要であると考えています。それを確実に研修できるように、振り返りカンファレンスや総合診療の観点からの定例学習会も計画しています。



導入期研修



一般外来研修



主治医として患者さんと 向き合う主治医制研修

2年間といっても、研修医の成長にあわせて丁寧にスケジュールを組む必要があります。

1年目は1年目に、2年目は2年目に、ふさわしいさまざまな経験をさせる必要があります。

当プログラムでは2年間を一律の内容にするのではなく、徐々にできることを積みあげていきます。

内科的経験、知識

外科的経験、知識

小児／産婦／精神

総合性の積み重ね

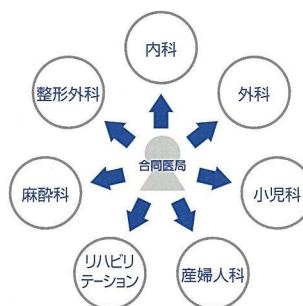
専門性の獲得



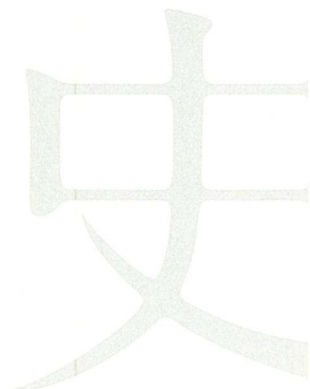
問診



家族への説明



合同医局は、所属診療科以外の指導医に一日中コンサルトができる環境です。



技

より高い技術を身につける研修とは。



長野医療生活協同組合

長野中央病院

より高い技術を 身につける研修とは。

振り分けではない救急研修、
必ず役に立つ技術習得プログラム。



救急研修



外科研修

救急研修

救急疾患では素早く判断を行い、その後の対応を決める必要があります。

全ての研修医にとって救急対応能力の習得は必要であり、そのため、どの科に所属しても研修を継続するという救急重視のプログラムです。

そして、自分が救急で受け持った患者さんを退院まで責任を持って診るといのが当院の特徴です。



内視鏡研修



超音波研修

内視鏡研修 超音波研修

監視があれば1人でできることを目指します。そのため、どの科をローテートしている時も研修を継続します。



経験する手技

包帯固定 / 注射（皮内、皮下、筋肉、静脈） /
中心静脈確保（鎖骨下、内頸、そけい） / 創部消毒とガーゼ交換を実施できる /
簡単な切開・排膿 / 皮膚縫合法 / 軽度の外傷・熱傷の処置 /
内視鏡（生検含む） / 腹部エコー / 心エコー / 気管挿管 /
トロッカー挿入 / 導尿バルーン / 腰椎穿刺 / 骨髄穿刺 /
胸腔穿刺 / 腹腔穿刺 / 胃管挿入 / グラム染色

技

人 輪 車

科を超えた指導医の連携が可能にするサポート。



長野医療生活協同組合

長野中央病院

科を超えた指導医の連携が 可能にするサポート。

その日から仲間として。



医局の朝礼



各科の壁がないから
1人ひとりが密接



少人数制だから
いつでもできる個別指導

1人の患者さんは、たいてい複雑に絡み合う問題を持っています。
ところが臓器別（科別）の壁が、研修医の学びの壁となっている場合も多々あるのです。
長野中央病院で学ぶ研修医は、その壁を感じることなく2年間の経験を積み重ねることができます。

輪

支

二年間の研修と生活をサポートする福利厚生。

2年間の研修と生活をサポートする福利厚生。

よく学び、よく遊ぶ、充実した研修を支援。



英会話教室（週1回）



海外学会

給与等について

身分：常勤職員

（社会保険、厚生年金、労災、雇用保険有り）

待遇：1年次 6,446,450円（前年度実績）

（年間）2年次 8,297,600円（前年度実績）

賞与年2回、研究手当、臨床手当、
当日直手当、家族手当、住宅手当有り

勤務時間：8:45～17:15（時間外勤務有り）

休暇：4週7休、有給休暇、夏期休暇、
年末年始休暇等

当直：4回/月（指導医とともに複数当直体制）

住宅：手当有り

健康管理：健康診断年2回

その他活動等

○外部の研修活動・学会・研究会 参加可能
（但し参加費・交通費の支給は原則として年2回）

○アルバイトは禁止とする



職員旅行（奄美大島）



職員旅行（沖縄）

職員旅行

旅行代金の一部を病院が負担し、旅行中は特別休暇とします。
また、多彩なコースから自由に選択できます。

職員旅行コース（一例）

○西表島【2泊3日】

○奄美大島【2泊3日】

○北海道旭山動物園【2泊3日】

○ブルートレインでいく北海道【2泊3日】

○四国お遍路道トレッキング【2泊3日】

○軽井沢ゴルフツアー【1泊2日】

○久米島【2泊3日】

○ランチクルーズとエステの旅【1泊2日】

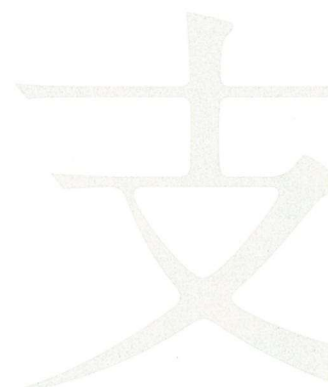
○世界遺産ハロン湾とハノイ【2泊4日】

○ホノルル【4泊5日】

○カナダナイアガラ【4泊5日】

○マカオ【2泊3日】

○サイパン【2泊3日】



次女

この病院だからこそ成長できたこと。



長野医療生活協同組合

長野中央病院

この病院だからこそ 成長できたこと。



海外でマラリアと闘う医療活動の原点

自治医科大学教授 **松岡 弘之**

1980年 新潟大学卒業

1980年5月～1983年7月 長野中央病院および諏訪共立病院で臨床研修

日本の医療の最前線を経験したいと思い、長野中央病院に入りました。血糖値コントロールの重要性を教えられ、リハビリによる人間の回復力を知らされ、内視鏡で早期胃ガンを見つける感動を体験しました。1人ひとりの職員の名前を覚えることのできる規模だったことも、良かった。今は東南アジア各国を訪れ、マラリア制圧のために迅速診断・迅速治療を普及しています。ここで経験した一例一例は、今でも私の医療活動の精神を支えています。

手技に自信をつけるならこの病院



長野中央病院 後期研修医
河合 俊輔

初期研修の間に基本的な技術は全て不安なく出来るようになっておきたいという思いがありました。この病院で初期研修をやって、不満はありません。自分が望めば大抵の手技はチャンスを与えてもらえました。知識をもらえる機会はブランド病院と比較すれば少ないのは事実ですが、自力で勉強する場合は整っていると思います。後期研修で1年間この病院にしようと思ったのも、他の病院と比較して圧倒的に手技をやらせてもらえるチャンスが多いからです。

「医局は1つだ！」を実感する毎日



長野中央病院 初期研修医
中村 祐介

滋賀県出身で、大学は愛知県です。見学時に「やりたい勉強はどんどんやりなさい」と言われ、その開けた指導体制に惹かれて、この病院に決めました。驚くのは科と科の繋がりが密接なこと。大きな病院のように科別に振り分けられることがなく「医局は1つ」という体制がどれほど大事かを肌で感じています。患者受け持ち制なので、緊急時には僕に直接電話がかかってくる。不安もあるけれど、指導医がすぐに駆けつけてくれるから安心です。

専門研修制度

初期研修を終えて後期研修を行い、卒後4～6年目をめどに専門研修（出向研修）を行います。

その間の給与・住居などの身分は、長野県民医連出向研修規定により保障されます。

過去の主な出向先

ウィーン大学（オーストリア）/ ハンブルグ大学（ドイツ）/ レンヌ大学（フランス）/
Good Samaritan Hospital(米国)/ 国立がんセンター中央病院 / 国立循環器病センター /
国立国際医療センター / 虎ノ門病院 / 榊原記念病院 / 横浜労災病院 / 湘南鎌倉総合病院 /
豊橋ハートセンター / 大阪府立成人病センター / 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター /
仙台市医療センター / 神奈川県立こどもセンター / 長野県立こども病院 / 旭川医科大学 /
横浜市立大学 / 順天堂大学 / 信州大学 他

次女

民

「命はみな平等」という民医連の挑戦。

「命はみな平等」という 民医連の挑戦

なぜ、あなたは医師になりたいのか。

長野中央病院のルーツは「民医連」です。

「医者にかかるのは死亡診断書をもらう時だけだった」という言葉が残る時代
「どんな命も平等」の信念のもと、病に苦しみ生活に困窮した人々の命を救うために、
名誉や栄達を求めずに献身した病院の成り立ちがあります。

患者さんの気持ちから出発する医療の姿勢も、
民医連の病院に受け継がれる魂のあらわれなのです。

